

令和3年度 学校法人静岡理工科大学 星陵中学校・高等学校 自己評価 学校関係者評価

どのような学校を目指すのか		校訓「誠実な心でことにあたる 友情の和を広げる 厳しさを自ら求める」の実践をとおし、比較優位性の高い「選ばれる学校」となる。				<h1 style="text-align: center;">学校関係者評価</h1> <p>※評価は、以下の基準に従い、各項目ごとに5段階で客観的に評価してください。</p> <table style="float: right; border: none;"> <tr><td>5</td><td>:</td><td>最も良好</td></tr> <tr><td>4</td><td>:</td><td>ほぼ良好</td></tr> <tr><td>3</td><td>:</td><td>普通</td></tr> <tr><td>2</td><td>:</td><td>やや不良</td></tr> <tr><td>1</td><td>:</td><td>不良</td></tr> </table>								5	:	最も良好	4	:	ほぼ良好	3	:	普通	2	:	やや不良	1	:	不良
5	:	最も良好																										
4	:	ほぼ良好																										
3	:	普通																										
2	:	やや不良																										
1	:	不良																										
基本方針		<ol style="list-style-type: none"> <li>1 時代が求める教育を展開する</li> <li>2 地域有数の進学校となる</li> <li>3 学園力を集結させる</li> <li>4 高大連携、高専一貫教育を推進し、法人内学校との連携を深める</li> <li>5 健全な運営体制を維持する</li> </ol>																										
昨年度の成果と課題		本年度重点目標		本年度重点施策		達成状況																						
◎「学力の3要素」を育て世界で通用する人材を育成した ◎「校訓」の実現を目指す人材を育成した ◎進学校として地域から評価される進路実績をあげた ◎21世紀型教育を展開し、地域社会に貢献した ◎学園の健全な運営体制を維持するための目標定員を確保した ◎国際的に活躍できる人材を育成するための教育を展開した ◎学園力を集結させ法人内連携教育と法人内連携を推進した		【入口目標】「募集定員を充足し地域のニーズに応える」 【中身目標】「マーケティング力、プレゼン力向上」 「学校ブランド再構築」「暗黙知から集合知・実践知へ」 「人文、社会、自然科学から非認知能力の養成へ」 「アジャイル型PBLとハイブリッド教育の推進」 「21世紀型教育の展開」 【出口目標】「文理にバランスの取れた人材の育成」		・健全な運営体制を維持するため、目標定員を確保する ・学園力を集結し「認知・非認知能力」の両面を育成する ・教育活動において、アジャイル型PBLを展開する ・21世紀型教育を展開し、地域社会に貢献する ・進学校として地域から評価される実績をあげる ・時代が求める教育を展開し、交際の人材を育成する ・誰もが安心して学べる環境を整える		目標達成 目標達成 目標達成 目標達成 目標達成 目標達成																						
評価項目	具体的目標	具体的方策	自己評価		成果・次年度への主な課題	学校関係者評価							平均															
			評価	平均		評議員A	評議員B	評議員C	同窓会	地域住民	地元企業関係者	教育関係者																
総務部	「21世紀型教育」の実践と展開	Web授業など「信頼と期待を重視する教育」を展開し、生徒・保護者の満足度を高めた。	4	4.0	教員各自が時代のニーズに合った授業展開の技術・知識を向上させる。	5	5	4	4	4	4	5	4.4															
		ICT機器の施設・設備の管理と点検を徹底し、生徒と教員が使いやすい状態を維持させた。	4		ICT機器を駆使した授業が展開できるよう教員・生徒の活用レベルを向上させる。																							
		観点別評価による成績変化を綿密に分析し、適正な受験者層を把握して定員確保に繋げた。	4		中学・高校の各種募集イベントの実施結果の分析と再編成を行う。																							
		「新型コロナウイルス感染防止」に対応した生徒募集イベントを開催した。	4		戦略的な広報活動を展開し、志願者の期待度を高め志願・受験に繋げる。																							
入試広報課	健全な運営体制の維持のため中学60名、高校400名の学則定員を確保する。	競合他校の動向を調査し、本校の強みを効果的に生かす広報活動を行った。	4	4.0	質の高い志願者を多数獲得することができた。	5	5	5	4	4	5	5	4.7															
		感染症拡大防止を意識しつつ適切な時期にイベントを開催した。	4		感染症拡大局面と収束局面の両方に対応した募集戦略を立てる。																							
		学科・コースの特徴に特化した情報発信に努めた。	4		社会的な状況の変化に伴い、複数の代替案を用意し対応する。																							
		式典や行事の準備の早期着手、あらゆる状況に対応できる代替案を持って臨んだ。	4		オンラインを活用し、式典本来の厳粛さを維持しながら進行する。																							
総務課	学校行事等の内容変更に対応するため、問題点・改善点の把握を的確に行い対策を組む。	オンラインを有効活用し、遠隔でも厳粛かつ他校にはない本校独自の式典を行った。	4	4.0	教科横断型指導に対応できる学びの場の整備をする。	5	5	4	4	4	4	4	4.4															
		「不易流行」を保ちながら、星陵ブランドの図書コーナーを構築する。	4		デジタルと紙媒体のハイブリッド型図書コーナーを進める。																							
		校内の施設を安心して使用できるように迅速に対応する。	4		令和3年度末に150脚の椅子を搬入した。																							
		修繕箇所や机・椅子などの備品補充を行った。	4		感染予防として必要な機材を準備していく。																							
管理課	校内の施設を安心して使用できるように迅速に対応する。	コロナ禍対策として机上用パーテーション、アルコールディスペンサーを設置した。	4	4.0	新課程におけるアジャイル型PBL授業の充実を図る。	5	5	4	4	4	4	5	4.4															
		Ed-Tech・G-STEAMの実践を通して、「主体的・対話的で深い学び(AL)」「PBL」の視点からの学習過程の改善を図る。	4		探究活動の分野・規模を拡充しSDG。第3段階レベルの活動の充実を推進する。																							
		一斉授業・オンライン授業・アクティブラーニングをバランスよく展開する。	4		観点別評価導入における問題点をアジャイルで対応する。																							
		オンライン学習について研究し、効果的に展開した。	4		教科横断的な学習をサポートする。																							
教務部	Ed-Tech・G-STEAMの実践を通して、「主体的・対話的で深い学び(AL)」「PBL」の視点からの学習過程の改善を図る。	「星陵ラボ」「総合的な探究の時間」を柱としたG-STEAM教育を実践した。	4	4.0	カウンセリング事後研修を更に生かし、生徒と教員を支える。	5	5	4	4	4	4	4	4.3															
		「星陵ラボ」「総合的な探究の時間」を柱としたG-STEAM教育を実践した。	4		担任レベルで行える問題解決方法を具体的に提示する。																							
		オンライン学習について研究し、効果的に展開した。	4		法人内の学校と連携したさらなる研究体制を構築する。																							
		教員のICTスキルを向上させた。	4		連携する教科を増やした実践を引き続き行う。																							
教務課	一斉授業・オンライン授業・アクティブラーニングをバランスよく展開する。	カウンセリング後の研修を通して生徒状況を把握し、的確な方策をたて生徒の学校生活改善に役立てた。	4	4.0	オンライン、デジタル機器を活用した連携教育を推進する。	5	5	4	4	5	4	5	4.6															
		月1回教育相談課通信をとおして、教員に役立つ情報提供を行った。	4		大学、専門学校進学後に十分な学力を持った生徒を育成する。																							
		研究成果を積極的に学内外に発信した。	4		東海大会以上出場に向けた活動を継続することで論理的思考力、表現力を身に付けさせる。																							
		家庭科、理科、地歴公民科を融合した学習を展開した。	4		英語力向上に加え、内容を精査し異文化理解力や表現力を身に付けさせる。																							
教育相談課	生徒の健全な登校をサポートする	感染症対策を講じながら出張講義や体験授業を実施した。	4	4.0	担当者や良好な関係を築き、海外交流校を拡充する。	5	5	4	4	4	5	4.6																
		担当者や協働し高大、高専一貫教育の改善案を検討した。	4		英語力向上に加え、内容を精査し異文化理解力や表現力を身に付けさせる。																							
		英語スピーチコンテストや英語デパート大会を目指し校内活動を行った。	4		多面的な解釈や意見を交換できるアクティブラーニングを推進させる。																							
		海外提携校や国内在住外国人講師とのオンライン交流を充実させた。	4		社会問題に対し効果的な提言ができる論理構成力を身に付ける。																							
21世紀型スキル推進課	「星陵ラボ」等の研究活動を拡充し、教科横断的な学習や進路実績の構築に繋げる。	新規海外提携校(米国・韓国)との交流を開始した。	4	4.0	ICT機器を活用した発表や討論などアクティブラーニング型授業を実践した。	5	5	4	4	4	5	4.4																
		ピア・ラーニングを重視した、PBL型の授業実践を行った。	4		授業実践例を共有し、論理的・創造的思考力を育成する授業を実行した。																							
		ICT機器を活用して主体的に情報収集・意見交換する授業を実践した。	4		授業実践例を共有し、論理的・創造的思考力を育成する授業を実行した。																							
		世論と情報、産業と環境など、他教科とも関連する社会問題を多面的に考察する授業実践を行った。	4		授業実践例を共有し、論理的・創造的思考力を育成する授業を実行した。																							
法人内連携教育推進課	法人内大学・専門学校と連携し高大、高専一貫教育を構築、運営する	ICT機器を活用した発表や討論などアクティブラーニング型授業を実践した。	4	4.0	ICT機器の活用により良い活用方法の検討を行い、実践する。	5	5	4	4	4	5	4.4																
		授業実践例を共有し、論理的・創造的思考力を育成する授業を実行した。	4		教科指導力を研究・実践する場を設け授業の質を向上させる。																							
		授業実践例を共有し、論理的・創造的思考力を育成する授業を実行した。	4		ICT機器をより活用した授業展開を引き続き実践する。																							
		授業実践例を共有し、論理的・創造的思考力を育成する授業を実行した。	4		ICT機器をより活用した授業展開を引き続き実践する。																							
グローバル教育推進課	グローバル社会で活躍する人材を育成する教育環境を整える。	実験・実習などをとおした生徒同士の学び合いの授業を行った。	4	4.0	思考力や表現力を育成するような授業形態をさらに研究する。	5	5	4	4	4	5	4.4																
		自ら課題を発見し主体的に取り組めるようICT機器を活用した授業を展開した。	4		ICT機器のよりよい活用方法の検討をおこない実践する。																							
		仲間と協力する態度を身につけられるようアクティブラーニングを実践した。	4		アクティブラーニング型の授業実践の共有をする。																							
		ICT機器を活用して資料提示するなどして、課題把握・追究姿勢の向上を図った。	4		グループ活動ができない中で、統一した課題把握が出来たり、極の取り組みの良さを制作に生かすことができた。さらに工夫・改善を進める。知識・技能の活用を進めることはできた。時数を考慮して、授業内容・計画の改善を進める。																							
教科	国語 新カリキュラムを見据えた思考力を育成する授業展開を試行して、スキルを開発していく。 地公 国際情勢や時事問題を理解・分析し、国際社会で活躍するための論理的・創造的思考力を育てる。 数学 ICT教育を実践した授業実践を行うことで、大学入試制度に対応した論理的・創造的思考力を育成する。 理科 ICT機器などを活用したアクティブ・ラーニングによる教育を展開し、生徒の非認知能力を育成する。 保体 運動や健康・安全についての理解と運動の合理的な実践を通して、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育てる。 美術 美術の授業などで学んだ知識・技能を活用しながら、主体的に創造活動に取り組む姿勢を育成する。 書道 自筆能力を高め、書の実用性を導ぶ授業を実践する。 英語 英語四技能の育成を図る。新カリキュラムを見据えた授業展開をしていく。 家庭 家庭科で学んだ知識や技術を生かして、持続可能な社会をつくる一員となる。 情報 情報に対するリテラシーを身に付ける。活用能力を高め、情報社会の一員となる素養を高める。	論理的思考力・判断力・表現力を育成する言語活動を行った。	4	4.0	思考力・表現力を段階的に育成するカリキュラムを検討する。	5	5	4	4	4	4	5	4.4															
		ピア・ラーニングを重視した、PBL型の授業実践を行った。	4		授業実践の共有により、発問やICTの活用法を深化させていく。																							
		ICT機器を活用して主体的に情報収集・意見交換する授業を実践した。	4		多面的な解釈や意見を交換できるアクティブラーニングを推進させる。																							
		世論と情報、産業と環境など、他教科とも関連する社会問題を多面的に考察する授業実践を行った。	4		社会問題に対し効果的な提言ができる論理構成力を身に付ける。																							
		ICT機器を活用した発表や討論などアクティブラーニング型授業を実践した。	4		ICT機器のより良い活用方法の検討を行い、実践する。																							
		授業実践例を共有し、論理的・創造的思考力を育成する授業を実行した。	4		教科指導力を研究・実践する場を設け授業の質を向上させる。																							
		ICT機器などを活用したアクティブ・ラーニングによる教育を展開し、生徒の非認知能力を育成する。	4		ICT機器をより活用した授業展開を引き続き実践する。																							
		実験・実習などをとおした生徒同士の学び合いの授業を行った。	4		思考力や表現力を育成するような授業形態をさらに研究する。																							
		自ら課題を発見し主体的に取り組めるようICT機器を活用した授業を展開した。	4		ICT機器のよりよい活用方法の検討をおこない実践する。																							
		仲間と協力する態度を身につけられるようアクティブラーニングを実践した。	4		アクティブラーニング型の授業実践の共有をする。																							
		ICT機器を活用して資料提示するなどして、課題把握・追究姿勢の向上を図った。	4		グループ活動ができない中で、統一した課題把握が出来たり、極の取り組みの良さを制作に生かすことができた。さらに工夫・改善を進める。知識・技能の活用を進めることはできた。時数を考慮して、授業内容・計画の改善を進める。																							
		授業で学んだ知識・技能を活用して制作できるように授業計画(題材設定)を立てた。	4		様々な古典作品に対して主体的な学習姿勢を育成する。																							
古法帖を中心に個性的な書の臨書を行い、多様な用筆を習得した。	4	日常的に使われる行書体の鍛錬、リズムと構成を理解する。																										
実社会で行われている書式や様式について理解し、対応能力を高めた。	4	授業実践例を共有し、生徒の能力を伸ばす授業を展開する。																										
思考力や表現力を高めるアクティビティを取り入れた授業を展開した。	4	基礎学力を伸ばし、生徒の主体性を発展させる授業を実践する。																										
基礎学力を徹底し、四技能の分野で知識を活用できる授業づくりを行った。	4	基礎学力を伸ばし、生徒の主体性を発展させる授業を実践する。																										
ICT機器を活用してプレゼンやグループ活動を行った。	4	ICT機器を活用してプレゼンやグループ活動を行った。																										
家庭科と実社会の関りを意識した学習を行った。	4	生活の充実向上を図る能力と実践的な活動を行う。																										
家庭科と実社会の関りを意識した学習を行った。	4	家庭や地域の生活課題を主体的に解決する力を身に付ける。																										
実習を通して生徒が主体的に思考活動を行う素地を培った。	4	オープンデータを活用して、実践的な情報処理能力を高める。																										
Officeアプリケーションの連携を伴う実践的なプレゼンテーションを行った。	4	Officeアプリケーションの活用を習熟し、プレゼンテーションスキルを高める。																										

指導部	「共通テスト対策+G-STEAM教育+SDGs第3段階の活動」を展開し、進学実績を積み上げる。	質の高い授業・講座を通して、思考力を養う授業を展開した。	4	4.0	講座の実施方法について再構築を検討していく。	5	5	4	4	5	5	4	4.6
		「星陵ラボ」等の研究活動をさらに深め、進学実績の構築につなげた。	4		ラボを部活動化させてより積極的な活動に高めてゆく。								
大学進学指導課	いじめ防止対策推進法・新型コロナウイルス等、学校の危機に対応する。	SDGs第3段階（気づきを重視した活動）により、他との差別化をはかった。	4	4.0	地域や地元企業とのタイアップを進め、地域とつながった成果を目指す。	5	5	4	4	4	4	4	4.3
		コンプライアンスに基づき「教員研修」「アンケート」「(各種)啓発活動」を連携なく行った。	4		アンケートについては定期的に実施され、抑止効果もある。さらに啓蒙活動を活性化させてゆく。部々のガイドラインを遵守するのはもちろん、学園としての基準についても遵守し、健康安全を実現する。								
進路課	多様な選抜方式に対応した進学指導体制を構築し、成果につなげる。	総合型選抜・学校推薦型選抜の出願検討会を実施し、積極的な出願を指導した。	4	4.0	校外模擬試験における数値目標を明確化し、指導体制を強化する。	5	5	4	4	4	5	5	4.6
		大学入試情報分析会で得た変更点や動向等の情報を共有化した。	4		一般選抜における個別指導体制を構築し、進学実績につなげる。								
生徒指導課	学校推薦による就職希望者の求人内定率を100%にする。	共通アストを各教科で分析し、今後の指導の方向性を明確にした。	4	4.0	教科毎に各大学の入試問題を分析し、指導体制を整える。	5	5	4	4	4	5	5	4.4
		早期の企業訪問を実施し、情報収集に努め、求人絶対数を確保した。	4		コロナ感染症の影響により、雇用状況を早期に確認する。								
保健体育課	生徒が明るく・楽しく・安全な学校生活を送る環境をつくる。	本校独自の企業見学を企画・実施した。	4	4.0	実際の職場を見学・体験させ、進路決定に繋げるために今後も実施していく。	5	5	4	4	4	4	5	4.4
		保健活動の実践を通して生徒・職員の健康管理を行う。生徒の病気がけがへの的確な対応をする。	4		教員間・生徒間・教員と生徒の連携を密にし、より楽しい・明るい学校生活を実現する。								
中学部	「知育・徳育・体育」に加え「美育（星陵流探究学習）」において、先端教育を実施する。	全校集会やHRをとおして、約束を守る力やいじめを許さない意識を向上させるように努めた。	4	4.0	メディアリテラシーの研修を深め、安全かつ効果的にスマホ・SNSを利用できるようにする。	5	5	4	4	5	4	5	4.6
		SBLとPBLを臨機応変に使い分けた授業展開を目指した。	4		行事や検診の時期や方法、内容を見直し、体育的行事の充実にも努める。								
高校1年部	グローバル教育、ICT教育、アクティブラーニングの実践をとおして高大接続改革に対応する。	ICT機器を授業やホームルームで活用した。	4	4.0	部活動顧問との連携し、体育施設の日々のメンテナンスを強化する。	5	5	4	4	4	4	5	4.4
		SDGsを土台にSTEAM教育を意識した美育プログラムを目指した。	4		コロナ禍を想定したハイブリッド授業を改善する。								
高校2年部	生徒1人1人の長所を活かした進路指導を行い、具体的な受験プランを固め、受験への準備を進める。	クラッシャー・ロイロノートを学年部全員が使いこなし。	4	4.0	LHRの時間を利用してSDGsの一つのテーマについて研究させ、個々の取り組みの発表の場を設定する。	5	5	4	4	4	4	4	4.3
		ICT機器を授業やホームルームで活用した。	4		コロナ禍ではあるが、異文化理解の実践と他人に伝えられるコミュニケーション能力を育成する。								
高校3年部	個々の進路希望に応じた丁寧な進路指導を展開するとともに、進学校としての確固たる地位を確立する。	新大学入試に対応する受験指導を個人レベルで実施した。	4	4.0	いままでの活動内容をポートフォリオ等を活用し内容をまとめる。	5	5	4	4	4	4	5	4.4
		校外模試の分析を進め、成績を向上させるための指導を実施した。	4		令和3年度の受験を分析し、個々の進路に対しての指導を実施する。								
		コロナ禍において変化する進路情報の収集、共有、分析を行い受験指導を展開した。	4	4.0	個々のキャリアプランに繋がるよう、各種検定の取得や探究学習の指導を発展させる。	5	5	4	4	4	4	5	4.4
		模試後の分析を通して、生徒の現状把握及び弱点の克服と伸長を図った。	4		新入試制度や入試問題の分析を今後の教科を含めた進路指導に生かす。								
			平均	4.0									4.4

## 評価委員のコメント

・校長先生をはじめ星陵中学・高等学校に携わる全ての方々に対し、子供達に質の高い教育を安心して受けられる環境をつくって頂き感謝いたします。近年、学校の行事や活動また生徒募集広告を地元メディアを通じて目にする事が多くなりました。広報活動として一定の効果があり本校に対する興味と高評価の声を耳にする事も多くなりました。情報は発信し続ける事で効果を発揮するので地域有数の学校にする為にも引き続き頑張ってくださいと思います。

また、星陵中学・高等学校だから出来る教育で差別化を図り、設備を含めた魅力有る教育環境と未来を見据え、時代に即した内容の教育を提供し続けて行く事は大変なご苦勞を伴う事と思いますが、本校を選んでくれた生徒の為、延いては学校の評価向上の為にもご尽力頂けると保護者として大変嬉しく思います。

新型コロナウイルスの流行により学校側も生徒側も振りまわされ、行事や美育教育等中止や縮小となり生徒はもちろん先生方も大変だったと思います。通常であれば経験できた事も経験できず保護者ももどかしく思うこともありました。

色々な事が制限される中、学校としてできる事はして頂いた事に感謝しております。これからも学校、地域、家族が一丸となっていけたらと思います。

一年間、有り難うございました。

- ・新学期になると、教員が交通量の多い交差点で生徒の誘導を行い、安全対策を図っていた。
- ・普通に生活していた日常が「新型コロナウイルス」という感染症で、180度変わってしまった今、学校生活も一変してしまい、先生方も、生徒の皆さんも、本当に大変だと思います。

感染症対策も、日本ではあまり経験がない為、手探り状態の中、星陵中学校・高等学校では、先生方が一丸となって授業の実践や生徒の健康管理を行ってきたと思います。その成果はすばらしいと思います。

これからも、校訓の様に頑張ってくださいです。

- ・新型コロナウイルス禍が長引く現状で、世界経済や医療を始めとする様々な分野で大きな影響を及ぼしています。教育に関しても、過去に類を見ない状況が続いています。

この状況の中で、星陵中学・高等学校は的確な状況判断で生徒への感染予防対策を講じ、安全を確保しながら生徒・教職員への対応が出来た事は、大きな評価に値すると思います。

授業に関しても、基本重点施策は十分に理解され活用されていると思いますし、各部活動などでも個性を生かした立派な成績を上げられ、幾つもの表彰を受けています。

本校は、生徒の可能性や新たな時代に相応しいグローバル教育目標を定めて実践しており、教養と人間の育成・個性を活かす教育ができていることに評価を致します。

国際社会に向けて身に着けるグローバル教育プログラムの中で、海外交流が規制される状況ではありますが、素晴らしい学習が出来たものと思います。

今回の様に予想されない事態の中でも、今まで学んだ学習を基に自宅に於いてもPBL型授業の実践を現実にも直面した形で学び、そして活用しています。

この結果が進学や就職に表れており、大きく変化する時代の中でこれまでと同様に、先生方の指導力と教育方針、方向性を見極めて行って頂けるよう期待をしております。

- ・過去に経験したことのないほどの大きな外部環境の変化に適応し、本校の未来を自らの手で創造していくこと。前途洋々であるけれども、荒れ狂う大海原に向け漕ぎ出す生徒たちに、決してぶれることのない羅針盤を持たせること。本年度の重点目標には、不変である本校の校訓や基本方針と、社会情勢が織り込まれた、示唆に富む指針が示されています。特に「非認知能力の養成」と「アジャイル型PBLの推進」については、就職、進学などの進路にかかわらず、やがて社会に出ていく生徒たちにとって、最も大切な「生きる力」を育む重要なものだと考えます。大学進学率や入学希望者数などの絶対的な評価の向上にとどまることなく、生徒や地域社会にとって何が大切なのかという本質を捉えた本校の存在意義は、他の教育機関のものとは一線を画する稀有なものだと思います。このような環境の中で常に問題提起をしながら毎日を過ごす生徒たちは、決して刹那的ではなく、自分が何になりたいのか、どんな人生を生きたいのかをよく考え、高みを目指して登っていくことができるはずです。

新型コロナ感染症拡大に伴い、従来以上に高品質な教育を提供することができる環境を迅速に整え、更には、今後の社会の在り方を予見し、目標にバックキャストすることで、刻々と変化する社会にしっかりと根ざし、生き生きと活躍できる生徒の育成を目指す。零細企業の経営者として、本校の運営から、非常に多くのことを学ばせていただきました。相変わらず奔放に青春を謳歌するわが娘に、本校の皆さまの真意がしっかりと理解され、自らの豊かな人生を創っていくための価値観をしっかりと育んでくれることを切に願っております。引き続き、大変な状況が続きますが、皆さまのご尽力に深く感謝申し上げます。